

第三者評価 評価結果総括表

NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

事業所名	ポピンズナーサリースクール横浜
報告書作成日	平成 29 年 1 年 10 日 (評価に要した期間 7 か月)
評価機関	NPO 中小企業再生支援第三者評価事業部

評価方法

自己評価方法 実施期間：平成 28 年 9 月 27 日 ～平成 28 年 10 月 15 日	全職員が参加し、職員会議などを通して検討を重ね、その結果を園長がまとめました。
評価調査員による評価方法 実施日：第 1 日目平成 28 年 12 月 06 日 実施日：第 2 日目平成 28 年 12 月 15 日	評価調査員 3 名が 2 日間園を訪問し、現場観察、書類確認、職員ヒアリング（園長、職員 3 名）および子どもの観察を行いました。
利用者家族アンケート実施方法 実施期間：平成 28 年 10 月 04 日 ～平成 28 年 10 月 14 日	全園児の保護者に、アンケート用紙と返信用封筒を園から渡して、園に回収箱を備え、無記名・密封の状態ですべて評価機関が回収しました。
利用者本人調査方法 (実施日：平成 28 年 12 月 06 日 12 月 15 日)	園児の 1 日の流れに沿って、保育園での生活状況を観察を中心に行いました。また、園児と遊びや食事をともにしながら、会話の中から聞き取りを行いました。

評価結果についての講評

<p>【施設の特徴】</p> <p>• 立地及び施設の概要 株式会社ポピンズ系列のポピンズナーサリースクール横浜は、地下鉄みなとみらい線新高島駅、横浜市営地下鉄ブルーライン高島町駅より徒歩 5 分、JR 横浜駅より徒歩 15 分のビルの 2 階にあります。 園は 2014 年 7 月 1 日に開設され、0 歳から 5 歳児の定員 60 名の小規模保育園で、現在 59 名の園児が在席しています。 園より徒歩 15 分以内には横浜臨海公園や高島中央公園など多くの公園があり、園では子どもたちの発達に応じて選択し、散歩、運動に利用しています。</p> <p>• 特徴 園の具体的な保育手法として「エデュケア」(education 教育、care 保育の合成語)があり、これを実践する上で園は、ポピンズアプローチという独自の手法により子どもの成長を支援しています。ポピンズアプローチでは子どもの成長における重要時期は「0 才から」として、こどもの知力</p>
--

を、言語・音楽・論理数学・空間構成・身体運動・自然科学・社会性・自己受容の8つの領域に整理し、「知力8（エイト）」と名付け、子どもの発達状況を勘案して、これらをベースとして組み合わせてカリキュラムを構成・運営しています。

【特に優れていると思われる点】

1. 子どもの人前発表力の養成（バイリンガル、オプションの英語教室）

設置法人はISO9001という育児介護部門の国際規格の認証を受けています。ともすれば業界内にとじ込みがちな保育分野で国際的な規格を取得しているのは非常にまれで先進的な試みです。グローバル志向の同社の方針にあわせて施設長は「グローバルに活躍できる人間」「意見を言える人間」の養成（子どもの人前発表力の養成）に幼児から取り組んでいます。

2. 合理的な会議議事録様式の確立

月1回のスタッフミーティングの記録が特徴的で、会議議事録記録様式は、保育園運営の重要項目20項目がそれぞれ独立した枠を持ち、会議で報告、検討された内容が項目ごとに分類、整理されて記録されるようになっていきます。各項目は、「各クラス状況」「障がい児報告」「クレーム」「給食」「行事」「来月予定行事」「研修報告」「ヒヤリハット」「多文化理解」「チームリーダーより」などで、一目でその保育項目の課題が見て取れる記録様式です。

3. 非常勤職員会議「子サポ（子育てサポーター；非常勤職員）ミーティング」の開催

全27名の職員の内、56%を占める非常勤職員が参加できる「子サポミーティング」を月1回開催し、広く非常勤職員からの意見も出やすくしています。非常勤職員からのヒアリング結果では好評で、職員のモチベーションアップに貢献しています。

【特に改善や工夫などを期待したい点】

1. 地域ボランティアの積極的な受け入れを

地域のボランティア及びボランティア団体には保育体験の機会を与えることも、地域への貢献及び園の透明な運営に関して必要です。招致の努められることを期待いたします。

事業所名:ポピンズナーサリースクール横浜

NPO中小企業再生支援第三者評価事業部



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域 I 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類

I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成



評価の理由（コメント）

- ・設置法人理念は「最高水準のエデュケアと介護サービスで社会に貢献します」であり、エデュケアとはエデュケーション（教育）とケア（保育）の合成した略語です。創業者である中村紀子代表が英国の教育ベビーシッター養成の名門ノーランドカレッジの教育メソッドに感激、導入しポピンズを起業しました。現在100校をこえる保育園を運営しています。
- ・ナーサリースクールとは保育学校の意味です。園の保育理念は「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します」です。教育に重点を置き、保育目標として「①寛容な人間、②聡明で愛情深い人間、③探究心の旺盛な人間、④グローバル社会で活躍できる人間」と4つの人間像の養成を挙げています。
- ・ポピンズアプローチという独自の教育メソッドで子どもの知力を8つに分け（知力8）、各々が関連しあったカリキュラムが編成されています。
- ・保育課程は基本は全園共通ですが、園独自に地域特性を配慮し英語のカリキュラムが毎週あり、英語の絵本も揃っています。
- ・園は2年半前に開園し、施設長は英語が堪能で米国のスタンフォード大で保育研修を受けています。
- ・教育目標である「グローバル社会で活躍できる人間」の養成を図るため、通常保育の中での「英語」の時間の他、3歳児以上は、オプションで月3回の「英会話クラス」を選択出来るようになっていました。また、人前で意見を話す事に自然と慣れられるよう、通常の保育に取り入れています。
- ・午前中「エデュケアプログラム」を毎日組んでいます。
- ・園はビジネス街の立地です。
- ・毎昼ミーティングで企業理念と教育目標の唱和を行い浸透を図っています。パートスタッフも月1回会議を行います。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



・園は保護者と園、担任との連絡方法にスマートフォンを利用した「マイページ」システムを採用し試行中です。Ipadで子どもの様子を登園前にスタッフに知らせ、朝のあわただしさを軽減するなど保護者への配慮を心掛けています。来年には連絡ノート代わりに切り替わる予定です。

・園の各種指導計画の作成ルールはISO9001を取得した時の手順を踏み、年間指導計画、月案、週案はリーダーとクラス担任が作成と評価を担当し、施設長が承認する仕組みです。

・月1回のスタッフ会議の記録が特色です。園運営の重要項目20項目が項目ごとに会議で報告、検討され、追跡調査ができる内容に分類、整理されています。各クラス状況・要配慮児報告・クレーム・給食・多文化理解・チームリーダーより、など一目でその項目の課題が見て取れる記録です。

・保護者の意向は個人面談と顧客満足度の向上のために実施されるISO保護者アンケートで収集され、見直しにも反映しています。

・入園前面接は事前に提出された資料を基に施設長、栄養士、看護師で面接に臨みます。

・保護者へは可能な限り負担を少なくするために「紙おむつ提供サービス」などを行っています。

・ならし保育の期間を最大1か月から2週間です。園児が持っていたい物の持ち込みは規則では「ご遠慮ください」と原則不可です。

・乳児は乳児担当リーダーと担任が主となり子どもの心身安定第一に対応しています。

・0～2歳児は毎日の様子をポピンズメモリーにて報告、3歳児以上は自由記載形式のメモリーを必要に応じて活用し、園と家庭とのきめ細やかな情報共有をはかっています。

I-3 快適な施設環境の確保



・屋内は、白とブルーに統一され 職員の服装も統一され清潔感がにじみ出ています。

・園の特色は、その内部インテリアにあります。広い部屋の真ん中に円形の事務所スペースを設置しています。事務スペースを中心に放射線状に広がる保育室が区切って配置されその円形にそって高さ50センチぐらいのマジックミラー状の窓が取り付けられています。保護者が自由に子どもの様子を観察できるオブザベーションスペースとしても利用できるようになっています。

・0歳と1歳は独立した部屋です。その他は広いスペースを1mほどの間仕切りで区切り、部屋全体は見渡すことができます。異年齢児との交わりが自然とできるようになっています。

・ビジネス街にある園の外部は管理会社がきれいに清掃し、内部は清掃チェック表を用い、職員が担当箇所を毎日必ず掃除しています。

・加湿空気清浄器を各部屋に配置し、0、1歳児には沐浴設備を備え、温水シャワーが出る設備を備えており、2、3歳児の部屋の隅には洗面設備があります。

・広い、人工芝生貼りのテラスでは園児は自由に思いっきり走り回っています。

・保育室は床暖房が整備され、全員裸足で遊んでいます。

・清掃マニュアルで硝子、おむつ台、おもちゃなどの細部まで清掃が指定されており、清掃チェック表で管理されています。

・園名表示が防犯上の理由でビルの入口にありません。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力




- ・園は乳児の「個別カリキュラム」を作成し、月末に評価反省を行い、施設長が必ず確認しています。
- ・疾病等で配慮の必要な子どもに対して、疾病管理依頼書をもとに施設長、看護師、保育士が経過観察しています。また、集団生活においても配慮の必要な子どもに対してフォロープログラムも作成しています。
- ・ネットの小児科オンラインで小児科医にも相談するなどしています。
- ・園児の成長発達記録は年間を4期に分け、その期間の成長をクラス担任が「成長記録」に随時書き入れ、ファイルし、常時見ることができます。毎日の「保育日誌」の個別配慮欄記録の活用です。
- ・園では、写真を多用し、ドキュメンテーションとして、こどもの成長を可視化する方法をとっており、子どもの遊ぶ姿、成長した姿、毎日の様子が当日夕方には廊下に写真と記事で貼り出されます。
- ・個人ごとのファイルは鍵のかかる書庫に保管し、日中は開錠し、常時見ることができますが、事務室からの持ち出しは禁じています。
- ・重要な申し送り事項は個人別にファイリングされ、子どもの進級時の職員間申し送りに利用しています。
- ・保育所児童保育要録は小学校へ送付されますが、情報公開請求の対象記録であり、特に慎重に扱われています。


I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・園には障害児の他に、集団生活において配慮の必要な子どもも数名在園しています。
- ・障害児との関わり合いでは子どもたちは特別に意識せず、むしろ健常児の方から積極的に遊びなどしています。
- ・設置法人独自の「こども虐待対応マニュアル」には詳細な分析と対処方法があり、「ナースリー1日のチェックポイント」として保育場面ごとに、職員は虐待のサインを発見する方法を周知しています。
- ・虐待についての園外研修に参加し、その結果を報告し、園内研修で情報共有を行っています。
- ・園には食物アレルギー児童に対しては、毎月栄養士が保護者と面談し、献立て表を作成しています。
- ・アレルギー対応児への配膳についてロールプレイングを行い、注意点を確認しています。
- ・除去食提供について、常勤の担当スタッフがピンク色のエプロンをして、専用のトレイに、はがきサイズの名札を立て、提供時には複数間のスタッフで口頭・指差し確認をして、多重チェックを行ってから誰よりも最初に配膳しています。机を別にして、食事が終えるまで担当が見守っています。
- ・保育課程で「多文化」項目があり、施設長も米国のスタンフォード大で保育研修の経験を生かし、「グローバル社会で活躍できる人間」養成に力をいれ、多文化理解のプログラムを恒常的にを行い、子どもたちが幅広い考えを持てるようにしています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="188 192 483 224">I－6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人は育児介護部門で品質保証の国際規格であるISO9001の認証を受け、顧客満足度を高めるための種々の方法を実践することが保証されている法人です。顧客満足の把握のためにISO顧客アンケート調査を毎年行っています。 ・直近の調査では「保護者は園に対して満足していますか」では95.5%が満足、「知人に園サービスを勧める可能性はありますか」では54%が勧める、としています。 ・年2回の懇談会や個人面談、日々の連絡帳、送迎時の会話等でコミュニケーションを密にはかり、小さなコンプレインを拾えるようしています。 ・園では「苦情解決のための第三者員制度」と「苦情解決に向けての実施要綱」に基づき苦情受付は主任、解決責任者は施設長、直接言いにくい場合には第三者委員を2名がおり、玄関のその名前は掲示してあります。 ・年2回運営委員会を開催し、保護者の意見を聞いています。これまで第三者委員が関与するケースはありませんでした。記録様式として「苦情受付書」「経過記録」など整備されています。 ・権利擁護機関としては横浜市福祉調整委員会の住所 電話番号が掲示されています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="188 965 507 996">Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・0歳児1歳児のクラスは子どもが静かに落ち着いて遊べるように独立した部屋を用意しています。0歳児、1歳児の部屋にはソファがあり、0歳児は授乳時に、1歳児は子ども自身がソファでゆったり過ごせるようになっています。2歳児クラスには中2階のある隠れ家を用意してあります。幼児クラスにおいても子どもの発達に合わせたおもちゃ、絵本の配置を行っており、子どもたちは自分の年齢や発達に合わせた使い方をしていきます。 ・自由遊びの中で、子どもが一人にいる際には子どもの様子をよく見ることにより、子どもが目的を持って一人で行うのかなどの判断を行い、一緒に遊ぶことを強制はしないようにしています。子どもが興味を持たない際には職員が傍らで話しかける支援を行っています。 ・バジル、オクラ、トマトなどの栽培、収穫を行い、食育活動に活かしています。食育活動では収穫した野菜をどの料理で食べたいかを5歳児クラスで聞くなどして、子どもと一緒に調理を楽しむこともあります。 ・子どもの表現力を培うため、リトミック、バイリンガルの時間を設けたり、朝の会では皆で歌を歌ったりしています。また、制作活動として月に1回季節の制作を行っています。オブションとして、体操、英語の時間もあります。

・乳児クラスのけんかについては、職員はけんかの寸前で止めるか、すぐに止められる位置に座るようにしています。幼児クラスのけんかの際には見守りを中心に行い、危険が無いよう配慮しています。子ども同士で解決がつかない時にはそれぞれの話を聞き、子どもの発達に合わせた解決案を提示したりしています。職員は子どもに対して正しい日本語の言葉がけを行うよう努め、常に公平で丁寧な言葉がけを行い、否定的な言い方をしないようにしています。

・発達段階に応じて、公園までの距離を徐々に伸ばして行ったり、大きい公園ではリレーやマラソンを行ったりしています。屋内では、ほふく前進を行ったり、バランスボールを使うなどして運動能力が高められるよう工夫をしています。

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



・離乳食期の子どもには、手でつかんで食べる(自分で食べようとする意欲)事を大切にし、毎食野菜のスティックを用意しています。野菜は当日準備している素材の中から、大根、ニンジン、インゲンなど幅広く選ぶようにしています。

・5歳児クラスは週に1度バイキング形式を取っており、主菜、副菜、汁物など、自分で食べられる量を考えながらお盆を持ってまわっています。調理室前には栽培中のシタケを展示しています。料理によってはそのシタケを使い、子どもたちが調理に関心が持てるよう工夫をしています。

・年間食育活動計画をたて、季節ごとの行事食、郷土食、多文化食などを提供しています。行事食ではハロウィン、冬至、クリスマス、春の七草、郷土食ではエジプト、スペイン、韓国、郷土食では新潟、愛知、愛媛などを行い、子どもたちが食事に興味を持ったり、知識が広がるよう配慮しています。

・栄養士は職員からの聞き取りを行ったり、子どもたちの食べる様子を見たり、話しかけたりして、子どもの好き嫌いを把握するようにしています。年齢に合わせて、野菜の切り方を変えたり(短冊切り、乱切り等)、パスタなどの長さを変えたりしています。

・3月に行われる保護者懇談会では、離乳食、幼児食の試食を行っています。懇談会では、朝食を食べること、離乳食時のつかみ食べ、食材の大きさの変化、食育の様子などを話しています。また、病み上がりや体調不良時には「食事内容変更届(宗教、家庭の方針)」を提出してもらい、個別対応を行っている事を保護者に伝えています。

・「SIDS予防対策マニュアル」が作成されています。0歳児から2歳児までは5分間隔でブレスチェックを行い、仰向けにしたり、横向きチェックを行い記録を付けています。3歳児から5歳児については、15分間隔でブレスチェックを行っています。

・0歳児は2時間から1時間半の間隔でオムツ替えをしていますが、個々のリズムを大切にして、必要に応じてオムツの取り換えもしています。1歳児については、1時間半を目安にオムツ替えを行うと同時に活動の前後にオムツを取りかえたり、トイレへの誘導を行っています。歩行が確立した子どもについては、オムツが濡れていない場合、トイレでオシッコが出ることを目指し、トイレに座って10数える事を始めています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



・健康管理に関する「保健業務マニュアル」があり、それに基づき一人一人の健康状態を把握しています。朝、子どもの受け入れ時に行われる職員による「健康観察表」や保護者からの連絡を基に朝ミーティングで子どもの健康状態の把握と職員の情報共有を図っています。

・健診前に、保護者へ「気になることがあればお知らせください」との書面を配布しています。書面には医師から回答を書き込む欄もあります。医師から書き込まれた回答の書面を渡すと同時に、口頭でも内容を伝えています。必要であれば受診を勧めています。健診内容については、職員間で共有しています。

・保育中に発症または疑われる症状があった場合は速やかに保護者に連絡し、対応について相談しています。子どもは迎えがあるまで、応接室などで静かに休ませています。保護者には降園後の受診をお願いし、医師に園内の感染症情報を伝えるようお願いしています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・入職時には看護師による研修があります。また、採用後は必要に応じた項目のマニュアルの読み合わせをミーティング中に行っています。嘔吐処理が速やかに行われるよう、嘔吐処理セットを園内3か所に配置しています。職員休憩室には写真付きの感染処理方法を記載した表があり、何時でも閲覧可能となっています。また、感染症が流行する時期前になると、看護師が中心となって、昼休みに数人ずつ嘔吐処理の手技の確認を行っています。



Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]




・毎月、避難訓練等が行われています。通報、消火器、消火栓の手順確認を行ったり、避難路の確認を行っています。年に1回、入居しているビルで合同避難訓練を行っています。訓練時には入居しているビルの総務課より、乳児の避難を手助けしてくれる職員が駆け付けて来ています。津波時にはビルの屋上まで避難する事になっています。

・子どものケガは軽傷であっても、ヒヤリハット、アクシデントレポートに経過、今後の対応などを記載しています。記載された内容は看護師が月末に集計を行い、事故の発生しやすい時間や状況を分析、確認を行っています。ミーティングでは、どうして噛み付くのか？、子どもはどのような状況にあるのか？など子どもの様子を観察し子どもへの対応方法を考え、再発防止策を実行するようにしています。

・1階エレベーター入口、2階玄関ドアはオートロックになっており、来訪者の名前と顔をモニターで確認しています。エレベーターは保育園専用のエレベーターとなっています。警備会社と契約を行っており、不審者があった場合には通報することになっています。また、入居しているビルの総務課にも連絡を入れ支援を受けることができますようになっています。

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅱ－３ 人権の尊重 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で子どもの成長の様子を細かく把握し、寄り添って話しかける時、褒める時などを共有し、子どもが危険な時以外は威圧的な言葉使いが行われないよう努めています。 ・子どもたちは、必要に応じて、2歳児クラスの奥にある中2階のある隠れ家、事務室、部屋の隅、アトリエなどで、友だちや職員の視線を意識せず過ごせる場所があります。また、廊下、事務所、スノーザールームなどを使い、一対一で話し合える場所もあります。 ・全職員は入社時における研修で、守秘義務や個人情報について学び誓約書を提出しています。 ・日頃より「男の子らしさ」「女の子らしさ」という固定観念にとらわれない保育を行うよう努めています。ミーティングにおいて、職員間でオープンな話し合いができるようにし、個人の持つ固定観念に対し、他者の考え方を取り入れることができるようにしています。
Ⅱ－４ 保護者との交流・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園時の説明会には、「重要事項説明書」を基に保護者に対して保育の理念、基本方針、を説明しています。また、年2回行われる懇談会では施設長の説明する時間を設け、保育の基本方針などを説明しています。また、年1回行われるISO保護者アンケートにおいて、基本方針が理解されているか確認しています。 ・子どもの送迎時には、その日の出来事や子どもの様子を健康観察表を基にを口頭で伝えると共に、玄関、各クラスの壁などに、写真に撮ったその日の様子をコメント付きで掲示しています。 ・乳児クラスでは電子連絡ノート「ポピンズメモリー」に毎日子どもの様子を記載しています。幼児クラスでは、連絡ノートに排便、昼寝の様子、など体調面に関する事を記載し、園での様子を伝えています。 ・保護者からの相談が立ち話で行われた場合は、保育日誌に記録しています。応接室などで行われた場合には、面談記録を作成し、個人ファイルに綴っています。施設長や職員は「その後いかがですか」などの声掛けを行ったり、子どもの様子を伝えたりし、継続的なフォローを行っています。 ・月1回News Letter（保育・給食・保健・音楽について記載）、園だより、献立表を発行しています。NewsLetterはパソコン、スマートフォンからも閲覧可能になっています。 <p><提言>：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者が自主的な活動を行うことができるよう、園からの働きかけや環境づくりが期待されます。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回子育て支援事業センターの要請で出前保育を行っています。 ・西区子どもを育てる地域連絡会に参加したり、西区子育て支援センターが中心になって作成している、子育てに関する冊子「スマイルポート」の作成に協力しています。 ・年間カリキュラムを作成する際、職員間で地域の子育て支援ニーズに関する事を話し合い、行事に組み入れることができるかを検討しています。 <p><提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て家庭に対し、子育てに関する相談事業の案内を発信することが期待されます。

Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能

・地域の住民に対して、区民祭りでポスターの掲示を行ったり、出前保育の場でチラシを配ったり、新聞社からのインタビューを受けたりして、園の情報提供を行っています。また、施設見学の際には育児相談に応じています。



・相談内容に応じた、関連機関との連携は施設長が主にしていますが、状況に応じて看護師も担当しています。

・施設長は中央児童相談所、横浜市中部地域療育センター、西区子ども家庭係など、必要に応じて連携が取れるようになっています。

<提言>

・職員の専門性を活かした相談会を行い、地域の子育て世代に対する貢献が期待されます。

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="177 248 699 309">Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の行事には地域住民を招待していません。 ・近隣の三菱科学館2Fの「スマイルポート」では、近隣保育園9園による「出前保育」を定期的に開催し、地域の子育て世代、親子を招待しています。隣の「アンパンマンミュージアム」からは、イベントへの誘いがあり、園児ともども参加しています。 ・地域の小学校とは就学対象年長児の学校授業体験、学校内探検などで訪問し、年長児クラス担任職員は学校の公開授業参観に出向いています。 ・「出前保育」には、必要なおもちゃ、ゲームを各園は園より持ちだして提供しています。 ・西区区民祭りなどの地域の行事チラシを園の玄関フロアにおき、保護者への案内としています。 ・園は「高島中央公園」や「臨港パーク」を散歩、運動に利用したり、「日本丸」見学や、バスを利用したの「野毛山動物園」への遠出も行い、地域の文化施設を活用しています。 ・幼児クラスでは地域の「絵画展」に、自分達の作品を出展し、地域との交流に努めています。 ・毎年4月に開催される横浜市主催の「さくらフェスタ」には、園児ともども参加して、踊りを披露しています。 <p data-bbox="703 902 821 936"><提言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会などの園行事では地域の未就園児親子など可能な限り招待し、保育園を中身を経験出来る機会の創出に努めて頂くことを期待いたします。
<p data-bbox="177 1133 699 1193">Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人のホームページには園情報を詳しく掲載しています。西区の幼稚園・保育園紹介冊子には保育所として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を掲載しています。 ・設置法人代表の保育園に関する記事は、神奈川新聞および全国紙にたびたび掲載され、園の情報も合わせ、報道されています。WEBマミタンには園情報を載せています。また、「アンパンマンミュージアム」から無料バスによるミュージアム招待では、日本テレビの取材も受けました。 ・見学者に対しては保育所の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や「園のしおり」などで分かり易く説明しています。問い合わせの際に施設長、主任が対応できない場合には園の事務スタッフが対応できるようにしています。見学を受け入れていることは園のホームページで案内し、また、電話相談を受けた際にも案内しています。見学は予約制で、希望者はあらかじめ「受け入れ様式シート」に必要事項を記入の上申込を行い、記載されている持参物携帯の上受け入れています。 ・見学希望者に対しては、基本的にはAM10:30～と通知しているが土曜日の希望者にも柔軟に対応しています。

IV-3 実習・ボランティアの受け入れ



・ボランティアに関しては、園にはマニュアルなど受け入れの仕組みがあり、受け入れ実績はありません。

・実際の受け入れがあれば、職員には職員会議で、保護者には運営委員会で説明することになり、受け入れ担当は施設長、主任となります。また、マニュアル上意見感想を記録することとなります。

・実習生に関しては、園にはマニュアルなど受け入れの仕組みがあり、実習生の受け入れ実績があります。

・実際の受け入れがあれば、職員には職員会議で、保護者にはNews Letterで説明します。

・受け入れ担当は施設長、主任です。

・実習プログラムは学校や実習生からの希望も入れ、相談しながら作成します。

・実習最終日には実習生、クラス担任、主任、施設長で意見交換会を開き、感想を記録します。

<コメント・提言>

・地域のボランティア及びボランティア団体には保育体験の機会を与えることも、地域への貢献及び園の透明な運営に関して必要です。招致の努められることを期待いたします。

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類

評価の理由（コメント）

V-1 職員の人材育成



・人材補充の必要性が出た場合には、施設長は設置法人のナースリー事業本部認可保育園総括部および人事部と話し合いの上、進めています。

・設置法人では職員採用に際して、新人研修、フォローアップ研修、インテンシブセミナーなどで「クオリティーブック」を使用して、継続的な研修を行い、職員の絶え間ないスキルアップを促しています。

・各職員は毎年「エバリエーションシート（個人目標）」を立てて施設長に提出し、年2回自ら達成度を評価、自己査定し、施設長と個人面談しています。設置法人担当部署では「人材育成プログラム」にそって、毎年職員のスキルアップに寄与する研修計画を作成し実施しています。

・設置法人のホームページには「webポピンズ学習システム」があり、職員およびパート職員は日中の休憩時間や帰宅後の家でも随時学習できるシステムが確立しています。

・設置法人の系列園で行われる「公開保育」に職員は積極的に参加し、他園の保育状況を体験しています。

・受講した職員の「研修報告レポート」を施設長はよく吟味して、以後の職員受講予定テーマを取捨選択しています。また、新人研修では受講生のアンケート結果からも反省点を捜して内容を見直しています。

・「保育園業務マニュアル」は非常勤職員でも入職時に主任より説明を受け、マニュアルは誰でもすぐ手に取れるところに置いてあります。

評価分類

評価の理由（コメント）

V-2 職員の技術の向上



・園の保育日誌には28項目にわたる「保育サービスチェックリスト」があり、各クラス担当職員は毎日一日の保育を振り返り、自分達の保育の質を自己査定しています。毎日の「保育サービスチェックリスト」結果は、週毎、月毎のスタッフミーティングで取り上げ、問題点、課題を抽出しています。

・園では必要に応じて設置法人の「横浜管轄チームリーダー」や「看護師チーム」、「系列外園の相談役」などと相談指導を受けながら保育を進めています。

・園の月案、週案、個別カリキュラム、成長記録、保育日誌には、職員は必ず記入する「評価・反省」欄を設けていて、職員自らが考える「評価の視点」を記入しています。

・施設長は各指導計画書の「評価・反省」記入内容が「計画の狙いと関連付けてあるか」「子どもの意欲を重視しているか」を必ず確認して、必要な場合には担当職員の指導を行っています。

・保育活動のビデオ、写真などを基にカンファレンスを行う「ドキュメンテーション」では、複数の職員の意見を得て次の指導計画の作成、見直しを進めています。

・保育士の振り返り、自己評価結果を基にスタッフミーティングで討議の上総括し、施設長が保育園全体の自己評価を行っています。

・設置法人には保育所や職員一人一人の法人理念や基本方針、保育課程にそった「評価シート」があり、園ではこのシートにそっても自己評価を進めています。

・自己評価結果については設置法人のホームページにまとめたものを掲載しています。

V-3 職員のモチベーションの維持





・設置法人には経験年数や役職に伴う「人材育成プログラム」があり、このプログラムにそって研修計画などを作成しています。全職員が年1回行う①職位別、②役割、③着眼点、④着任年数、⑤期待能力に分類された自己評価（年間個人目標管理）シートには、期待されるスキルレベルが詳細に記載されています。

・園では施設長、主任、クラスリーダー、職員とのミーティングに際しても、議長の順番制をとっており、職員間で意見を交わしやすい、風通しの良さを目指しています。

・職員意見や要望・満足度の掌握には設置法人が年度末に行う職員からのWEBアンケート「キャリアプラン」提出により行っています。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>VI-1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・設置法人株式会社ポピンズサービスの哲学に「倫理」「コンプライアンス」が明記されていて、職員は入社時に必ず研修を受けています。また、設置法人の内部監査室による監査を年1回受けています。設置法人の全体会議や「インテンシブセミナー」のテーマとして、他園の不正、不適切事例を取り上げ、ケーススタディしています。 ・経営状況は設置法人のホームページに内容が詳しく掲載されています。 ・園は産業廃棄物回収業者と契約してゴミ処理を行っていますが、これは横浜市ゴミ処理「3R夢」システムと同じで、①燃えるゴミ、②リサイクルプラスチック、③ダンボール、④生ゴミ、⑤ビン・カンに分けて分別を行っています。 ・廃材で再利用できるものは手作りおもちゃや子どもの自由な発想での製作活動に使用しています。 ・園では節電、消灯のほかに、エアコンの設定を調整しながら、省エネに努めています。 ・環境への配慮として、地球環境保護のポスターを玄関に貼りだし、職員、保護者も含めて啓蒙しています。
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員には「保育園理念・基本方針」を印刷したクレドを配布し、職員は自分の名札と一緒に絶えず身に付けて、保育にあっています。昼礼の際は、まず「ナーサリースクール目標」を唱和してから会議に入るようにしています。 ・会議の中で議論が錯綜した場合、施設長は「保育園理念・基本方針」に立ち戻って考えるように指導しています。 ・各職員は毎日行う「保育日誌」での「保育サービスチェックリスト」を通して、自らと理念との隔たりを反省しています。 ・重要な意思決定のケースとしては、平成27年に標準保育時間の改定が出された際に、保護者へは十分な説明を行い、納得を得た上で、「重要事項説明書」の内容改定を行った経緯があります。 ・設置法人では、課題によっては認可保育園統括部、企画営業部など、総力をあげて取り組む仕組みがあります。また、社内の「看護師チーム」「栄養士チーム」などの専門チームは、各分野の最新の情報提供を子育て支援に活かせる仕組みができています。 ・設置法人主催の「インテンシブセミナー」が年1回開催され、幹部スタッフを育成しています。 ・シフト表作成に必要な全職員の業務状況把握については、主任のほかに施設長、クラス担任等、複数の職員によりサポートしながら運営されています。 ・主任は施設長と職員の間に入って、全職員間のスムーズなコミュニケーションがなされるように配慮しています。 ・施設長、主任、看護師は職員の家庭などの問題を含め、精神的、身体的な状況には絶えず気を配っています。

VI-3 効率的な運営



- ・施設長は西区保育園園長会議に出席し、また、設置法人の園長会議にも出席し、事業運営に影響のある情報を収集し、施設長は園に持帰り、全職員で共有しています。
 - ・設置法人には保育を進めるにあたって、①サービス品質、②人材、③財務管理、④地域との関わりの各項目に対して、4年～5年の長期計画と1年～3年の中期計画を策定し、各園で目標に向けた保育園運営を行っています。
 - ・経理業務のシステム化運用を軌道に乗せ、さらなる業務の効率化を目指しています。
 - ・「インテンシブセミナー」にて次期幹部職員の育成を行っています。
 - ・保育園運営に関して、社会福祉法人会計専門の税理士事務所のアドバイスを受け、適切な運営を行っています。
- <提言>
- ・設置法人代表からする長期計画として「将来の理想とする保育園像」があり、これに向かって「中期計画」があります。今後はさらに「中期計画」の各テーマを実行動目標に結び付ける年度ごとの「事業計画」を作って行動する目標管理システムの確立が望まれます。

利用者本人調査

平成年 12 月 06 日、15 日

事業所名：ポピンズナーサリースクール横浜

【0 歳児】

<朝会の後のおやつ>

朝の会では中央の部屋の片隅に保育士と一緒に、朝の会に出席します。会が終わると保育士とともにフロアの奥の別室になっている保育室に帰ります。0 歳児の部屋は 絨毯敷きになっていて、暖かく、子どもたちは奥のコーナーでテーブルに着き、おやつを食べました。食べたあとはおむつ交換などをして、自由時間です。子どもたちは暖かな絨毯フロアの上を、バタバタと元気に歩きまわっていました。

<授乳ソファ>

保育室の奥にはソファがおいてあり、授乳の必要な子どもがいるときには、保育士はゆったりとした雰囲気をつくりながら、授乳します。

<保育室内の運動>

0 歳児の部屋はおもちゃを片付けて、部屋を広く使っています。部屋の中では、子どもの発達に応じて、ほふく前進などの運動を行っているとのこと。

【1 歳児】

<食事>

「眠くなっちゃった?」「一つだけ食べる?」「いや?」などと、子どもに話しかけながら食べさせている。保育士が子どものスタイに入っている野菜を皿に戻しています。

<午睡>

食事の終わった 1 歳児たちは部屋の隅に集められ、保育士のリードで歌を歌います(手遊び付き)。つづいて保育士により本の読み聞かせを行います。本を読んでいる間に敷かれた布団の上でそれぞれ眠りにつきます。保育士はタオルケットを掛けたり、お腹をトントンしたりしています。

【2 歳児】

<食事>

保育士が食事を支援します。「〇〇ちゃんどうしたの?落ちた?」「スパゲッティ、くるくる、はいどうぞ」とフォークに巻き付けて、子どもが取りやすいようにフォークを向けてやっている。3 歳児と異なり、なかなか食事が進まず、時間のかかる子どもが数人います。

【3歳児】

<散歩>

エイエイオーと叫んで出発です。靴下をはいている子へ「はい素敵」「すごい上手だね」などと保育士が子どもへ声掛けしている。

公園に着くまでいっぱいおしゃべりしながら移動して入ります。横断歩道では保育士が笛を吹きながら横断しています。子どもと保育士のゲーム「あるある」車シリーズです。子ども「電車」保育士「あるある」子ども「トラック」保育士「あるある」子ども「バイク」保育士「あるある」などと子どもが順に車の種類を言い、保育士が「あるある」を言っている。

子ども「見て、珍しいバスだよ」の声に皆が見ると、静岡交通の車が走っており、あまり見ない車体でした。男性保育士が静岡出身だったらしく、「アー静岡の車だよ」と説明している。3歳児の中には車にかなり詳しい子がいるようで、フェアレディ-、等車種名を言っていました。

<高島中央公園>

到着後は体操を行い、遊ぶ時の注意事項を説明。「4歳児さんのおもちゃを取ってはいけません」「笛がピーって鳴ったらお茶のみタイムです」「砂場の道具はみんなで使っているから、一人一個です」。他の保育士は園内の安全確認；「滑り台 OK」など。子ども「鼻」保育士「鼻が出たから拭いてください、だよ」と子どもに教えながら鼻を拭いている。砂場では、保育士「お袖まくってあげようか？」と子どもに話しかけている。

砂場で数人の男の子で穴掘りをしている。子どもたちはモグラ探しをしているつもりらしい。砂場用のカップを使って、葉っぱを飾ってケーキを作っている。

おもちゃの取りっこが始まり、片方の子が後から来た子に貸さないとやっている。貸さないとされた子どもは保育士に訴えている。保育士「交渉してみましようよ」「長い針がどこに行ったら貸してくれるか」。子どもによって交渉の仕方を変えているようです。今回の子どもは時計が分かるのでこういう交渉の仕方にしたそうです。

交渉の結果保育士、「8になったら貸してもらえるから、9になったら返すのよ」。保育士「ブルーベル（3歳児）さん、一回お茶を飲みたいと思いますのでおもちゃを片付けてください」。スコップを使って砂で遊んでいる時、誤って他の子どもに砂をかけてしまう。「わざとじゃなくても。きをつけてね」と注意を与えている。「今〇〇くんが使っていたよね」。

公園内に人が増えてくる（他園、個人）。個人で遊びに来ていた子どものおもちゃを取った子に対し、「今ね、赤ちゃんのを取ったの。ごめんね」。親子に対して保育士が謝る。とった子に対しては、「〇〇ちゃん、保育園のが有るから、探してみて」と砂場の道具を持っている保育士の所に連れて行き、道具を与える。

ひきあげです。2人で手を繋いでひきあげる。途中、靴が脱げた子がいると保育士が「おくつ脱げてまーす」の声掛けで全体で止まって待つ。

園に保育士が帰着した際、子どもが一人玄関で眠る。(時々、パタンと眠る子どものようで、10分間眠らすことになる)

<食事>

食事の準備が始まると同時に一番奥の2才児のコーナーにコットを敷き始める。保育士が食事の準備を始める。

【4歳児】

<散歩>

さすがに4歳児です。大通りの広い歩道を整然と歩きます。10分ほど歩いて、近隣にある高島中央公園に着きました。

<高島中央公園>

公園は広い芝生とドングリの木に囲まれた安全な所です。他の保育園の園児が3組先に着き、運動会のリレーの練習などを行っています。そうこうしているうちにポピンズの系列園のみなとみらいの2歳児も到着。

当横浜の4歳児は公園の一角に集合して準備運動を始めました。さあ、自由遊びです。保育士が持参した砂遊び用具を並んで受け取ると、一目散に砂場に入ります。3歳児も到着して、砂場は大混雑です。4歳児に保育士から注意の言葉をかけられました。「小さいお友だちが隣に来たら、どうするか考えてね」。子ども達は保育士の注意を聞いて、仲良く遊んでいます。

ハーフタイムに保育士が「マーガレット(4歳児)さんに質問があります。追いかっこをしようと思っていますが、このまま砂場で遊びを続けたい人? 鬼ごっこをしたい人? どっちがいい?」と質問を投げかけました。多数決というより、子どもが一斉に「砂場」という。保育士「じゃあ、砂場で」で遊び継続決定しました。

【5歳児】

<朝の会>

5歳児が保育室の端にある5歳児のスペースのテーブルにみんなで座っています。保育士を中心に朝の会が始まったようです。お当番さんがボードに天気、当番名などを書いていく。保育士「素敵、書き順、ばっちりだったね」「大正解」と子どもに話しかけている。

<クリスマスソングの練習>

朝9時30時からの練習風景。。歌う曲は讃美歌「まきびとひつじ」「サウンド・オブ・ミュージック」「ドレミの歌」「エーデルワイス」。「まきびと・・・」はサンタクロースが街にやってくる歌で全員が合唱する。手を後ろに組み、声を出しやすい姿勢で大声を出す練習をして声をならしてゆく。声が慣れてくると合唱に入る。容易に声はそろわない。先生がピアノを弾きながら丁寧に教えています。

「サウンド・・・」「エーデルワイス」は、メロディが牧歌風ですでになじみの歌だ。

「サウンド・」は「音階をとるのが難しい」「ピアノの音に合わせられない」「高音部の声がでない」などの難点は練習するにつれ少しずつできるようになる。先生は焦らずに一人ずつに教えて行く。高音部は練習すればできるようになるのがこどもにもわかったようだ。「エーデル・・・」は2人ずつ前へ1歩出て歌う。次も2人と歌い続ける。次は1人で、最後に全員前へ揃っての合唱です。思いっきり声を出しています。

「ドレミ・」は全員が輪になって、リーダー格の女の子が「さードレミの歌をうたいましょう」との合図で歌い出す。「ドはドーナツのド」「レはレモンのレ」と子供一人ずつが音階1つを担当して、そのフレーズを歌い継ぐ。あるものは小声で、あるものはひょうきんに思いっきり声を張り上げる。一番陽気になって歌える曲です。音楽リトミックのカリキュラムの総仕上げです。

<公園での遊び>

園はビジネス街にあるビルの2階で、防犯上の理由から建物の入口には看板はありません。10時45分ごろから近くの高島中央公園へ散歩です。徒歩15分。幅30mはあろうかという長い交差点を通ります。青になってから渡り始めます。渡り終わるともう赤です。少し遅ければもう赤になります。見上げれば高層マンション群と100mはある高層のビルが見えます。この公園にはハトもいて、犬の散歩、近在の保育園が多いのか6グループが来ていました。着いてすぐベンチに座り持参の水を紙コップでのみ、のどを潤せます。「ごちそうさまでした」と唱和。すぐ体操です。体をほぐすための準備体操です。

次が「泥棒つかまえごっこ」。4人1組で泥棒と捕まえるお巡りさん組に分かれ広い芝生の上を制限を設けずに走りまわり、泥棒を全員タッチすれば、捕まえたとして、勝ちというゲームです。「エイエイヤー」と時の声をあげて走り廻ります。逃げる子追っかける子、体いっぱいフルに走ります。足の速い女の子にはかないません。男の泥棒は次ぎ次とつかまります。

次はポジションを変えてのゲームです。追っかけた組が今度は逃げる番です。全員使えられればその時点で勝負が決まるルールです。他園の子ども達の中に逃げ込む子もいます。帽子の色が違うので間違いません。

30分余りこのゲームが続き、思いっきり走り回った子ども達は疲れてしまっていますが、ゼーゼー言いながらも座り込む子、仰向けに寝転がる子、先生は自由にさせています。一人一人に「がんばったね」と先生は褒めています。

他園の子ども達が帰り始めました。しかし近くを通ってもお互いに「さようなら」と挨拶はしません。先生方の指導があるのでしょうか。帰りの道でも一言も挨拶はしません。都会の子どもの習わしでしょうか。知らない人には声を掛けない、ということの教えでしょうか。子ども同志でのあいさつも無いのが少し気になりました。

<食事>

メニュー コーンクリームスパゲティ リンゴサラダ コンソメスープです。食事の支

度は保育士がし、当番の 2 人がテーブルに並べる。当番の子 2 人が今日のメニューを書いたボードをもって読み上げる。そしてその子どもが今日のゲストである自分を呼びに私のところへくる。案内されてテーブルへつく。「どうぞ 召し上がれ」で一斉に食べ始める。10 分間で食べてしまう決まりです。それからお代わりができるというルールです。

フォークとスプーンで食べ始める。使い方が上手だ。スープから、次にサラダ、そしてスパゲティと順番に食べる。10 分間で一人を残してみなほぼ食べ終わる。楽しく喋りながらいつの間にか食べてしまっている。お代わりは 8 人中 7 人がした。リンゴサラダが好評のようだ。スパゲティもお代わりが多い。スープは味が薄いのか誰もお代わりはしない。

保育士はテーブルについてはいますが、一緒には食べない。こどもの食べ方を見守っています。

5 歳児の食育の目標は「時間内に食べる」「マナーを守る」です。最低限の目標はクリアしているようです。

利用者家族アンケート

ポピンズナーサリスクール 横浜保育

・0歳児	6
・1歳児	7
・2歳児	7
・3歳児	8
・4歳児	9
・5歳児	7
無記入	
合計	44
回収率	89%

調査期間 平成 28 年 10 月 4 日～ 10 月 14 日

調査機関 NPO法人 中小企業再生支援

0 0 0 0 0
0 0 0 0 0

■保育園の基本理念や基本方針についておたずねします。

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

1 よく知っている 8名 %	3どちらともいえない 保育園	4 あまり知らない 7名 %
2 まあ知っている 29名 %		5 まったく知らない 名 %
		合計 44

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)

1 賛同できる 33名 %	3どちらともいえない 名 9	4 あまり賛同できない 0
2 まあ賛同できる 4名 %		5 賛同できない 0

■ここからは保育園のサービス内容について、満足度をおたずねします。

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

(上段の単位は人)

	満足	無記入	どちらかといえば不満	不満	その他
見学の受け入れについては	24	7	0	0	13
	55%	16%	0%	0%	30%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	26	12	1	1	4
	59%	27%	2%	2%	9%
園の目標や方針についての説明には	28	13	2	0	1
	64%	30%	5%	0%	2%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	27	15	0	0	2
	61%	34%	0%	0%	5%
保育園での1日の過ごし方についての説明には	30	10	2	1	1
	68%	23%	5%	2%	2%
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	33	8	3	0	0
	75%	18%	7%	0%	0%

問3 保育や行事の年間計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
年間の保育や行事についての説明には	26	16	1	1	0
	59%	36%	2%	2%	0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	19	18	3	1	3
	43%	41%	7%	2%	7%

問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 なお、乳幼児期の保育は、教育的なねらいを持った遊びを通して行われています。

(〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	34	10	0	0	0
	77%	23%	0%	0%	0%
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	33	8	3	0	0
	75%	18%	7%	0%	0%
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	31	11	1	0	1
	70%	25%	2%	0%	2%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	27	12	5	0	0
	61%	27%	11%	0%	0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	30	13	1	0	0
	68%	30%	2%	0%	0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	30	13	0	0	0
	68%	30%	0%	0%	0%

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
給食の献立内容については	34	8	1	0	0
	77%	18%	2%	0%	0%
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	31	12	0	0	1
	70%	27%	0%	0%	2%
基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては	36	8	0	0	0
	82%	18%	0%	0%	0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	28	14	2	0	0
	64%	32%	5%	0%	0%
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	25	11	1	0	5
	57%	25%	2%	0%	11%
お子さんの体調への気配りについては	35	8	0	0	1
	80%	18%	0%	0%	2%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	27	10	4	2	0
	61%	23%	9%	5%	0%

問5 保育園の快適さや安全対策などについていかがですか。それぞれの項目について満足度をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
施設設備については	33	10	1	0	0
	75%	23%	2%	0%	0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	33	9	1	1	0
	75%	20%	2%	2%	0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	33	10	0	1	0
	75%	23%	0%	2%	0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	26	12	5	1	0
	59%	27%	11%	2%	0%

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	20	20	3	1	1
	45%	45%	7%	2%	2%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	25	16	1	0	1
	57%	36%	2%	0%	2%
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	24	16	3	1	0
	55%	36%	7%	2%	0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	26	13	4	1	0
	59%	30%	9%	2%	0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	27	14	3	0	0
	61%	32%	7%	0%	0%
保護者からの相談事への対応には	25	16	3	0	0
	57%	36%	7%	0%	0%
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については	30	10	2	1	1
	68%	23%	5%	2%	2%

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
あなたのお子さんが大切にされているかについては	36	8	0	0	0
	82%	18%	0%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	35	8	1	0	0
	80%	18%	2%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	24	8	0	0	10
	55%	18%	0%	0%	23%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	33	11	0	0	0
	75%	25%	0%	0%	0%
意見や要望への対応については	25	14	4	0	1
	57%	32%	9%	0%	2%

